

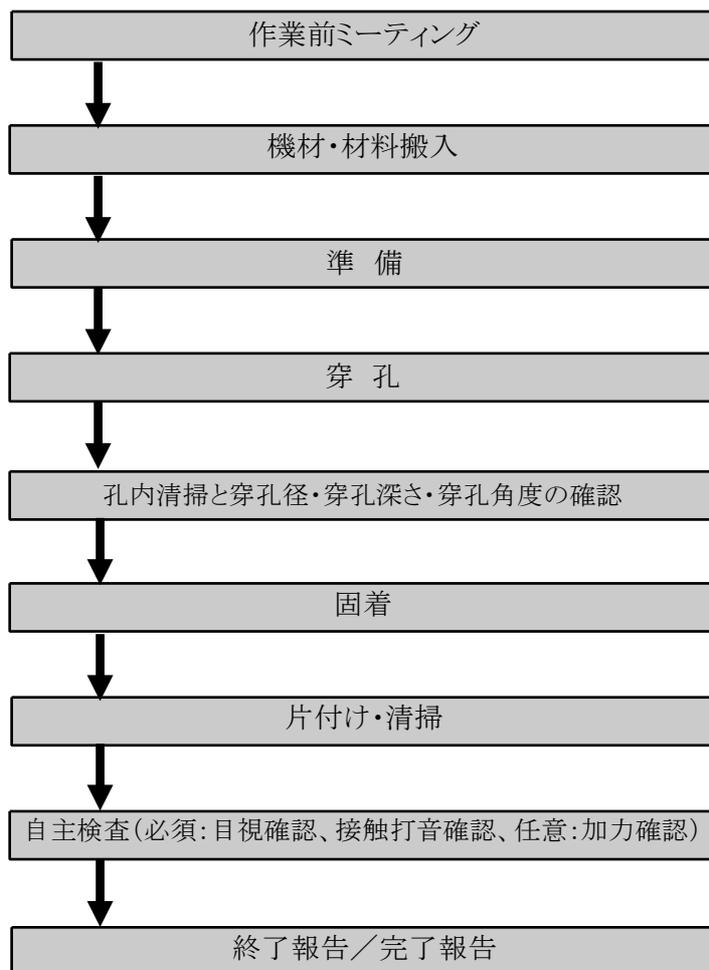
あと施工アンカー工事  
金属系/(本体打込み方式)

標準施工手順

現場名

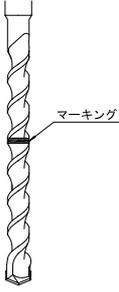
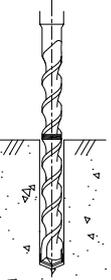
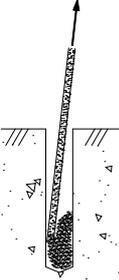
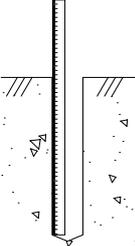
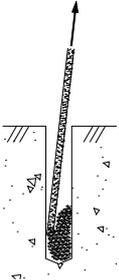
社名

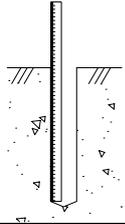
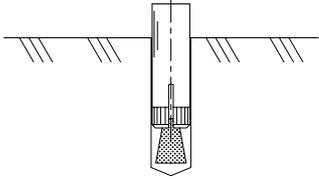
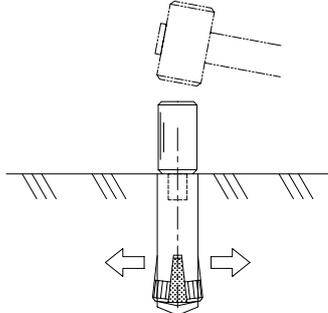
- ( 1 ) ミーティング
  - ( 2 ) 機材・材料搬入
  - ( 3 ) 準備
  - ( 4 ) 穿孔
  - ( 5 ) 孔内清掃と穿孔径・穿孔深さの確認
  - ( 6 ) 固着
  - ( 7 ) 片付け・清掃
  - ( 8 ) 自主検査
- 必須: 目視確認、接触打音確認
- 任意: 加力確認
- ( 9 ) 終了報告／完了報告



・標準施工手順

施工手順	確認・注意事項
( 1 ) 作業前ミーティング	
① 作業前ミーティング	作業員の健康状態のチェック・予定作業の確認 施工数量・作業手順の確認、搬入時通路の確認
( 2 ) 機材・材料搬入	
② 足場等施設の確認	作業区域、場所で安全に作業出来るか作業主任者の点検 ※足場が不安全な場合は管理者と協議し修正をお願いする
③ 定着位置の確認	図面および管理者立会いのもと確認を行う
④ 機材・材料搬入	指定通路を用いて安全に気をつけて搬入を行う
( 3 ) 準備	
⑤ 準備	施工工具・アンカー筋等の準備・確認 使用する材料の製品・容量・有効期限を確認
⑥ 墨出し(穿孔位置)の確認	墨出し(穿孔位置)を確認する ※墨出しは管理者の業務
⑦ 埋設物の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄筋や配管等の位置・深さを確認</li> <li>・電磁波レーダー法は、参考最大深度:600 mm (SIR-EZXT)</li> <li>・電磁誘導法は、参考最大深度:200 mm (PS300)</li> <li>・電磁波レーダー法は、鉄筋・塩ビ管・空洞を探查対象</li> <li>・電磁誘導法は、鉄筋のみ探查対象</li> </ul>

( 4 ) 穿孔	
⑧ コンクリートドリルの確認	所定のビット径、有効長のドリルの確認
⑨ マーキング 	コンクリートドリルにマーキング または穿孔深さ調整機構による設定
⑩ コンクリートの穿孔 	コンクリート面に対し直角に穿孔
( 5 ) 孔内清掃と穿孔深さの確認	
⑪ ブLOWER・バキューム等で清掃する 	穿孔後、孔内の切粉を吸塵 孔内に残留物が無いか確認する
⑫ 穿孔径、穿孔深さ、穿孔角度の確認 	ノギスなどで、穿孔径と孔壁に沿って穿孔深さを計測
⑬ ブラシがけ	特に穿孔内が湿気を帯びている場合、穿孔深さと径に適合した専用ブラシを用いて、孔壁面に付着している切粉を充分に掻き落とす
⑭ ブLOWER・バキューム等で清掃する 	再び孔内の切粉を吸塵 孔内に残留物が無いか確認する

<p>⑮ 穿孔径、穿孔深さ、穿孔角度の確認</p> 	<p>ノギスなどで、穿孔径と孔壁に沿って穿孔深さを計測</p>
<p>( 6 ) 固着</p>	
<p>⑯ アンカー挿入</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンカーをハンマーを用いて軽く叩きながら所定位置まで挿入する。</li> <li>・アンカーを孔に挿入する前にコーンが脱落しないようにあるいは、斜めにセットされていないこと確認する</li> <li>・所定の深さの場合は、コーンが孔底に接するまで入れる</li> <li>・所定の深さより深い場合は施工面まで入れる</li> </ul>
<p>⑰ アンカー拡張(打込み)</p>  <p>(取付物の締付け)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンカーサイズに適合した重さのハンマーと専用打込み棒を使用し、打込みの手ごたえまたは音が変わるまで打込む</li> <li>・アンカー製造者の仕様がある場合はそれに従う</li> </ul>
<p>( 7 ) 片付け・清掃</p>	
<p>⑱ 片付け・清掃</p>	<p>作業箇所の片づけ・清掃</p>
<p>( 8 ) 自主検査</p>	
<p>⑲ 自主検査</p>	<p>必須:目視確認、接触打音確認、任意:加力確認</p>
<p>( 9 ) 終了報告／完了報告</p>	
<p>⑳ 終了報告／完了報告</p>	<p>当日の作業報告書／工事完了時に提出する報告書</p>